

2017年11月8日

医学系研究の実施に関するお知らせ

研究課題名：炎症性サイトカインによる歯髄炎発症の解明

研究責任者：大阪歯科大学・歯科保存学講座・助教・小正玲子

1. 研究の対象

2012年9月19日から2019年3月31日の間に、本学附属病院口腔外科に来院し、抜歯治療を受けた患者様

2. 研究目的

歯髄炎の発症機序を解明するために、ヒト歯髄由来細胞を用いて TNF- α 刺激による MMPs の産生機序を明らかにすることを目的とします。

3. 研究方法

本学口腔外科にて矯正治療のため抜去した健全歯を分割し、歯髄組織を剥離し、約 2×2 mm の組織片に調製します。この組織片を 35 mm 組織培養用ディッシュに静置し、滅菌カバーグラスを置いて数秒圧迫固定し、10%ウシ胎児血清、100 U/ml ペニシリン、100 mg/ml ストレプトマイシンを添加した Dulbecco's modified eagle medium により、37℃、5%CO₂湿潤条件下で 24 時間培養します。歯髄組織片から out growth した細胞を、0.25% Trypsin-EDTA 溶液を用いてディッシュから剥離し、継代培養します。24-well plate に歯髄細胞を播種します。24 時間培養後、PBS (-) で洗浄します。TNF- α を 0 ng/ml、5 ng/ml、10 ng/ml、20 ng/ml、50 ng/ml、100 ng/ml 加え、刺激を行います。上清を回収し、sample buffer (0.0625 M tris-HCl (pH 6.8)、2% SDS、5% glycerol、5% 2-ME) を加え、99℃で 3 分間ボイルし電気泳動用試料とします。等量の試料を 8% SDS-PAGE に供し、PVDF メンブレンに転写します。PVDF メンブレンに種々の MMP 抗体を反応させ、MMPs の産生を検出します。

4. 研究期間

この研究は 2012 年 9 月 19 日から 2019 年 3 月 31 日にかけて行われますが、あなたに直接本研究に参加していただくのは、治療のために抜去歯をご提供いただくときのみです。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：抜去歯

情報：本研究で用いることはありません。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担 当 者：大阪歯科大学附属病院・保存修復科・小正 玲子

住 所：〒540-0008 大阪府中央区大手前1丁目5番17号 大阪歯科大学附属病院6階

電 話：06-6910-1087